

兵庫大学の取組み

東加古川を拠点とする兵庫大学は、周囲に高齢者大学いなみ野学園、加古川総合文化センター、加古川中央図書館、県立農業高等学校をはじめとする高校、中学校、小学校、幼稚園に囲まれた文教地区として、恵まれた環境に立地しています。JR東加古川駅から徒歩圏内でありながら、隣接する寺田池を借景とした自然豊かな環境で、地域に根差した大学として地元企業、自治体やNPO団体と連携した活動を展開しています。

令和2(2020)年3月時点で、25の自治体や諸企業・団体、16の高等学校と連携協定を締結しています。2020年度には、県立姫路商業高等学校、一般社団法人播磨ひとづくりコンソーシアム、特定非営利活動法人Deep Peopleと新たに連携協力協定が締結されました。

兵庫大学・兵庫大学短期大学部の連携協定締結先



(令和3年3月現在)

東播磨地域とのつながり

県立姫路商業高校との連携協定

兵庫県立姫路商業高等学校と兵庫大学・兵庫大学短期大学部は、令和2年8月5日に包括的連携協定を締結しました。この協定は、高校と大学の教育に係る交流・連携・支援を通じて双方の教育の発展を図るとともに、将来、地域で就業または起業するなど地域活性に貢献できる人材の育成を目的とするものです。

締結式では連携協定書の取りかわしの後、代表者による挨拶を行い、連携推進への決意を共有しました。



また、令和3年3月18、19日には現代ビジネス学科の取り組みで、姫路商業高等学校の1年生240名に「RESAS体験授業」を行いました。

生徒のみなさんは普段と雰囲気の違い、大学教員から受ける講義を真剣に聞き、チームで話し合い、楽しみながら課題に取り組みました。そして、最後にまとめた内容の発表を行いました。



一般社団法人 播磨ひとづくりコンソーシアムとの連携協定

一般社団法人播磨ひとづくりコンソーシアムと兵庫大学・兵庫大学短期大学部は、令和3年3月12日に連携協定式を行いました。この協定は、双方が包括的な連携のもと、人的・知的財産や特色ある資源の活用を図り、医療、福祉、まちづくり等の各分野で協力し、活力ある地域の形成及び発展と相互の人材育成に寄与することを目的としています。



兵庫大官学連携事業の取組み

令和2年度において、加古川市が主催する「加古川市協働のまちづくり推進事業」に、兵庫大学生が主体となる団体の3つの活動が採択されました。学生の地域活動が加古川市の活性化、またブランディングにつながることで、学生にもより一層の責任感が生まれました。また、6年目となる稲美町の官学連携事業では、2件の提案が採択されましたが、コロナ禍のため1件の実施となりました。

学生が主体となる地域活動だけでなく、自治体等から教員への委員委嘱、講演依頼、共同研究など、東播磨地域における唯一の高等教育機関として、その役割は日々発展を遂げています。

協働のまちづくり（加古川市）

キャンパスウェディング

学生が企画し、カップルの公募を行ったウェディングを11月14日（土）に兵庫大校内で実施しました。衣裳・美容・カメラ・音響などは専門業者に依頼して質の高いウェディングを目指すと同時に、新郎新婦のお話を聞かせてもらい、兵庫大生ならではの演出を進行に取り入れました。

（PBL実践力を培う兵庫大生による地域活動 P.23参照）



カラーリングプロジェクト

加古川市民の子どもから高齢者までが新しいスポーツである「カラーリング」に親しむことで、心身ともに健康な状態で生活でき（健康の増進）、良好な地域でのコミュニティの基盤を支え、地域を活性化することを目指しました。

コロナ禍での実施のため、感染対策および中止の判断に注意を払い実施しました。

（PBLグランプリ エントリープロジェクト P.10参照）



健康づくりナッジプロジェクト

東加古川駅北口の階段側壁に、健康システム学科の学生が考案したポスターを4種類掲示しました。駅の利用者に階段の利用を促すことにより、健康増進につながるねらいがあります。ポスター掲示の前後で階段を利用する人の変化を計測しました。

（PBL実践力を培う兵庫大生による地域活動 P.23参照）

保育士等のキャリアアップ研修（明石市）

保育士等キャリアアップ研修の実施

厚生労働省で定められたガイドラインに基づき、兵庫大は指定研修機関として、保育士の処遇改善と専門性の強化に向けてキャリアアップ研修を実施しています。

明石市より委託を受けた明石市内勤務者対象の研修は、前期4講座（延58名）、夏期5講座（延123名）、後期4講座（延64名）を実施しました。

また、明石市勤務者以外も対象とした講習は、加古川ヤマトヤシキ会場で、1講座（延10名）を実施しました。



稲美町官学連携事業（稲美町）

173（稲美）農村ウェディング

現代ビジネス学科の科目「ウェディング・プランニング」履修の学生8名と本学教員石川夕起子教授が、11月28日（土）、稲美町の加古大池を舞台に「173（稲美）農村ウェディング」を開催しました。

4月から始まる授業の中で、結婚や挙式の意義、ビジネスマナー等を学習後、プランニングや進捗管理のスキルを学んでいきました。また、7月には稲美町広報誌に掲載する募集広報の作成を行い、10月にご応募いただいた2組から、コロナ禍で結婚式を諦めていらした1組のカップルに決定しました。

終わった後の学生の言葉には、思わずこみ上げるものがありました。

- ・「身内の式以外で泣くとは思っていなかった。こんなに心が動くんて」
- ・「準備がこんなに大変とは思ってなくてしんどかったけど、本当に携わることができてよかった」
- ・「感動でずっと涙が止まらなかった」
- ・「喜びとお祝いの気持ちが伝わってずっと幸せだった」
- ・「準備していた時のことが浮かんで、カタチになっていくことに胸が熱くなった」

授業を越えたたくさんの時間も使い、ココロも遣いピークで迎えた人前結婚式は、カップルと取り巻く温かいみなさまに支えて頂き行うことができ感謝です。



自治体・教育機関等への委員派遣及び講師派遣

自治体や教育機関等へ本学の教員が有識者として委員に就任、また講師を務め、地域教育活動に貢献しています。

（令和2年度実績）

【加古川市内】	委員就任： 4件	（加古川市文化財審議委員会 等）	講師依頼： 11件
【高砂市内】	委員就任： 1件	（高砂市子ども・子育て・若者会議委員）	講師依頼： 2件
【稲美町内】	委員就任： 1件	（稲美町文化財保護審議会）	
【その他県内】	委員就任： 3件	（神戸市教育委員会 等）	講師依頼： 72件